

日本語教育副専攻

1. 授業科目

区分	学部	科目番号	授 業 科 目	単位数	最低履修 単位数	学期
必 修 科 目						
共 通 教 育 科 目		総103	日本語学概説Ⅰ	2	18	前
		総104	日本語学概説Ⅱ	2		後
		総105	日本語教育学概説Ⅰ	2		前
		総106	日本語教育学概説Ⅱ	2		後
		総109	日本語教材研究Ⅰ	2		前
		総110	日本語教材研究Ⅱ	2		後
		総111	日本語教授法Ⅰ	2		前
		総112	日本語教授法Ⅱ	2		後
		総113	日本語教育実習	2		前又は後
選 択 必 修 科 目						
共 通 教 育 科 目		総107	日本語教育各論Ⅰ	2	2	前
		総108	日本語教育各論Ⅱ	2		後
選 択 科 目						
共 通 教 育 科 目		総115	日本語教育演習Ⅰ	2	6	前
		総116	日本語教育演習Ⅱ	2		後
		総117	日本語教育演習Ⅲ	2		前
		総118	日本語教育演習Ⅳ	2		後
		総114	海外日本語教育実習Ⅰ	2		前又は後
専 門 教 育 科 目	人文社会学部	RG301	音声学Ⅰ	2	6	前
		RG302	音声学Ⅱ	2		後
		RG111	中国語学概論Ⅰ	2		前
		RG112	中国語学概論Ⅱ	2		後
		RG325	日本語学特講Ⅰ	2		前
		RG326	日本語学特講Ⅱ	2		後
		RB141	朝鮮文学概論Ⅰ	2		前
		RB142	朝鮮文学概論Ⅱ	2		後
	国際地域創造学部	学共209	異文化理解	2		前又は後
		学共114	ヨーロッパ文化論	2		後
		英言181	英語研究Ⅰ	2		前
		英言281	英語研究Ⅱ	2		後
		英言383	英語の異文化間コミュニケーション	2		前又は後
		英言384	コミュニケーションと文化	2		前又は後
英言385	談話とコミュニケーション	2	前又は後			

2. 修了要件

副専攻学生として登録し、必修科目を18単位、選択必修科目を2単位以上、選択科目6単位以上、計26単位以上を履修すること。必修科目及び選択必修科目、一部の選択科目の授業内容については別紙を参考とすること。

日本語教育副専攻（別紙）

科目番号	授 業 科 目	単位数	週時間	受講年次	学 期	授 業 内 容
総103	日本語学概説Ⅰ	2	2-0	2	前	日本語教育副専攻課程における日本語学の入門講義である。日本語そのものへの理解を深めるため5人の教員がそれぞれ3回の授業を担当する。音声・語彙・文法・文字表記・方言など、さまざまな視点で日本語の特徴を学ぶ。
総104	日本語学概説Ⅱ	2	2-0	2	後	日本語学概説Ⅰに続く日本語教育副専攻課程における日本語学の入門講義である。日本語そのものへの理解を深めるため5人の教員がそれぞれ3回の授業を担当する。音声・語彙・文法・文字表記・方言など、さまざまな視点で日本語の特徴を学ぶ。
総105	日本語教育学概説Ⅰ	2	2-0	2	前	日本語学習者の概略を知ることから始め、①日本語(教育)と国語(教育)の違い、②日本語を学習者の立場から見直し、学習者にとってどのようなところが問題となるのかについて考える。
総106	日本語教育学概説Ⅱ	2	2-0	2	後	①日本語教育の実際と課題を対象者別に検討し、②海外の日本語教育について調べる他、③日本語教育の中で「文化」をどのように扱ったらいいか考える。
総109	日本語教材研究Ⅰ	2	2-0	2	前	現代日本語文法を主体的に考える能力を高めつつ、自分のための文法参考書を作ることを最終目標とする。
総110	日本語教材研究Ⅱ	2	2-0	2	後	現代日本語文法を主体的に考える能力を高めつつ、自分のための文法参考書を作ることを最終目標とする。
総111	日本語教授法Ⅰ	2	2-0	3~4	前	日本語教師として教壇に立つために学ばならない基本的な項目を取り上げる。講義と討論によって日本語教授法の基礎を学ぶ。学期の後半には模擬授業を行う。
総112	日本語教授法Ⅱ	2	2-0	3~4	後	日本語教師として教壇に立つために学ばなければならない基本的な初級文法、中級教材分析、聴解・読解の生教材作成法を学ぶ。学期の後半には模擬授業を行う。
総113	日本語教育実習	2	0-2	4	前又は後	授業実習だけでなく、1つのコース(学習者募集からコース評価まで)を受講生で分担しながら運営し、教育現場で求められる基本的な能力を培う。
総107	日本語教育各論Ⅰ	2	2-0	3~4	前	実際の会話データ(動画、および書き起こしスクリプト)を観察・分析することを通して、日本語教育における会話教育について考える。
総108	日本語教育各論Ⅱ	2	2-0	3~4	後	新聞記事など書き言葉のテキストを観察・分析することを通して、日本語教育における読解教育・批判的リテラシー教育について考える。
総115	日本語教育演習Ⅰ	2	2-0	3	前	日本語教育およびその関連領域についての文献を講読し、発表および議論を行い、理解を深める。
総116	日本語教育演習Ⅱ	2	2-0	3	後	日本語教育およびその関連領域についての文献を講読し、発表および議論を行い、研究テーマを決定する。

日本語教育副専攻（別紙）

科目番号	授 業 科 目	単位数	週時間	受講年次	学 期	授 業 内 容
総117	日本語教育演習Ⅲ	2	2-0	4	前	研究計画を立て、分析方法を学び、調査やデータの収集を行う。
総118	日本語教育演習Ⅳ	2	2-0	4	後	調査結果やデータの分析・考察を行い、論文を執筆する。
総114	海外日本語教育実習Ⅰ（※）	2	0-2	4	前又は後	

※ 実施の可否については年度ごとの状況によって異なる。